

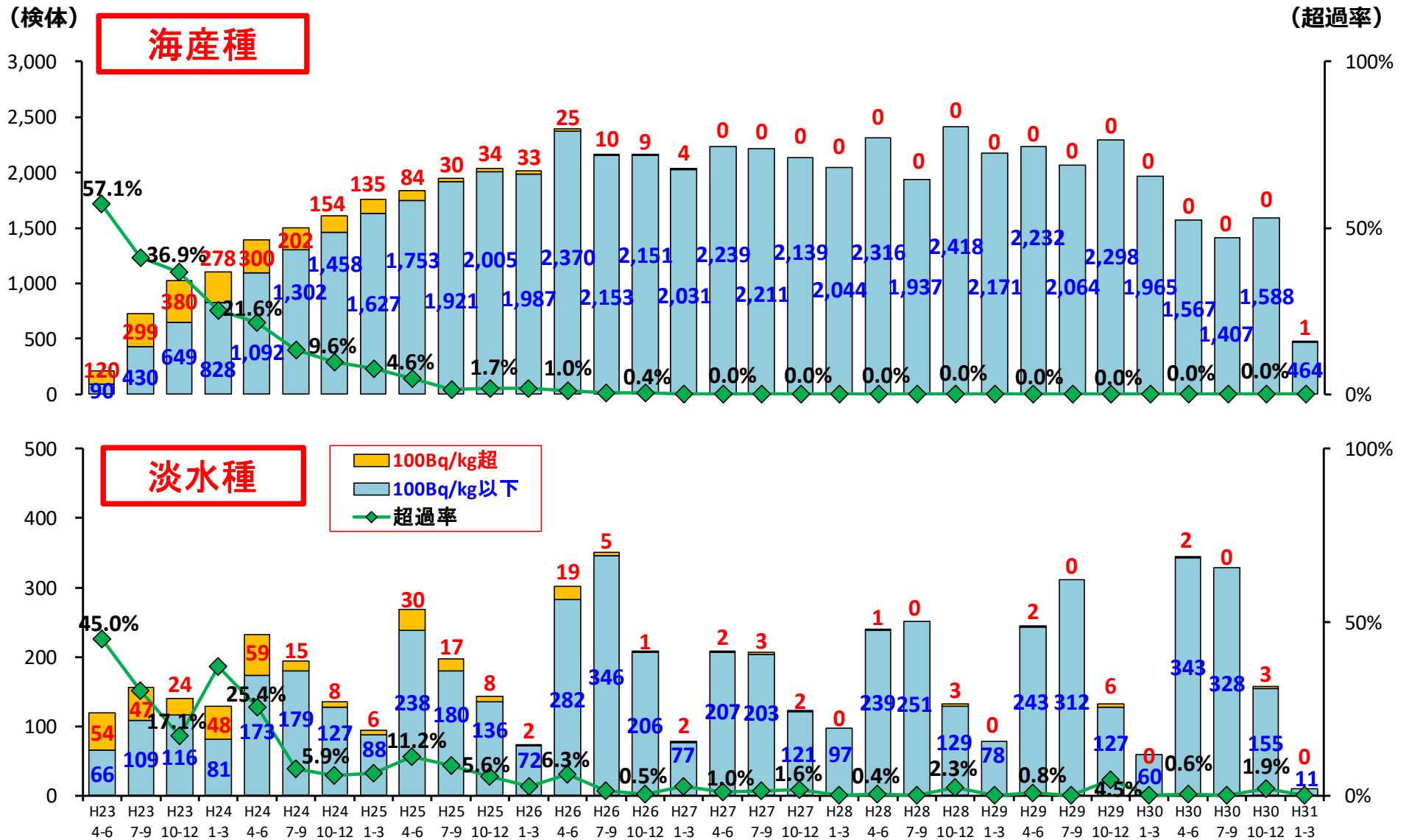
水産物の調査の考え方

- 調査対象魚種の拡大や調査頻度の増加等調査を強化
 - ・ 50Bq/kgを超えたことのある魚種や主要水産物を中心に調査
 - ・ 近隣県の調査結果を参考

沿岸性魚種等 (例：コウナゴ、スズキ、カレイ等)	水揚げや漁業管理の実態、漁期等を考慮し、県沖を区域に分け、主要水揚港で検体採取。表層、中層、底層等の生息域を考慮して調査。
回遊性魚種 (例：カツオ、イワシ・サバ類、サンマ等)	回遊の状況等を考慮して、漁場を千葉県から青森県の各県沖で区分（県境の正東線で区分）し、区域ごとの主要水揚港で検体採取。
内水面魚種 (例：ヤマメ・ワカサギ・アユ等)	漁業権の範囲等を考慮して県域を適切な区域に分け、主要区域で検体採取。

水産物

水産物の検査結果（福島県海産種・淡水種）



平成23年3月24日から平成31年1月31日までの調査結果を水産庁にて集計。

農林水産省

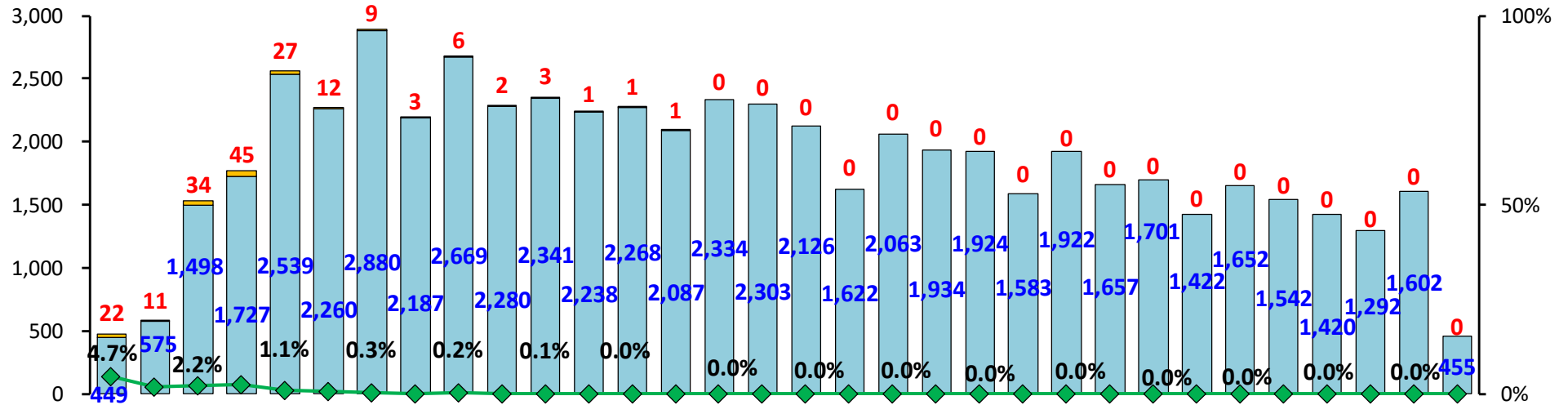
水産物

水産物の検査結果（福島県外海産種・淡水種）

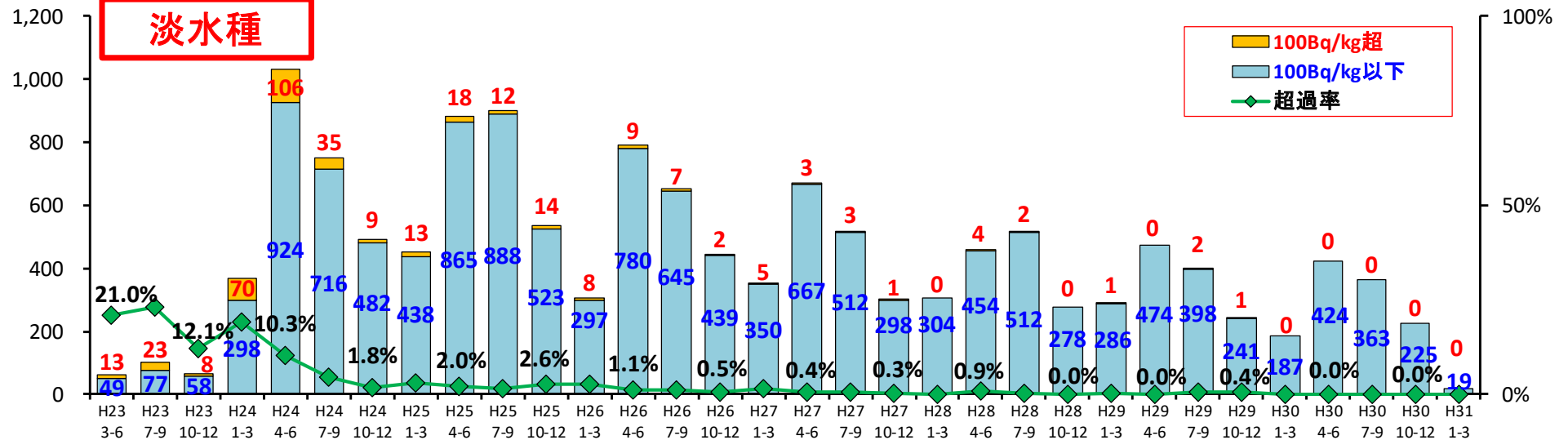
(検体)

海産種

(超過率)



淡水種

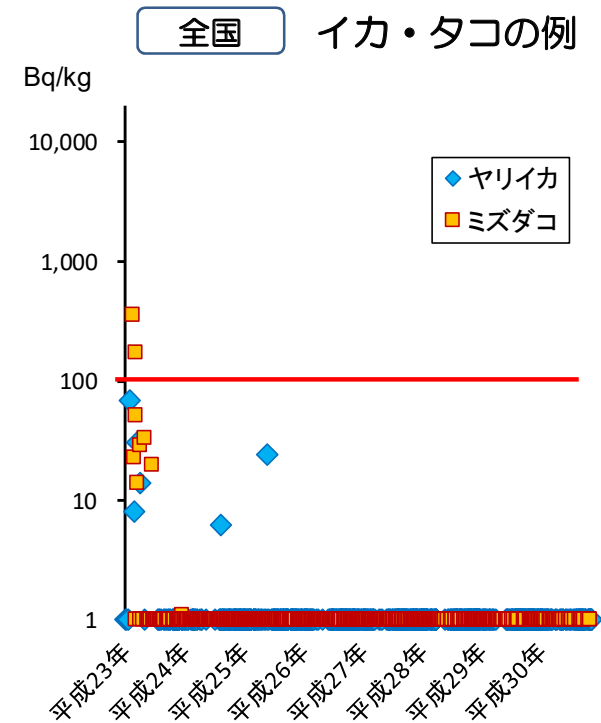
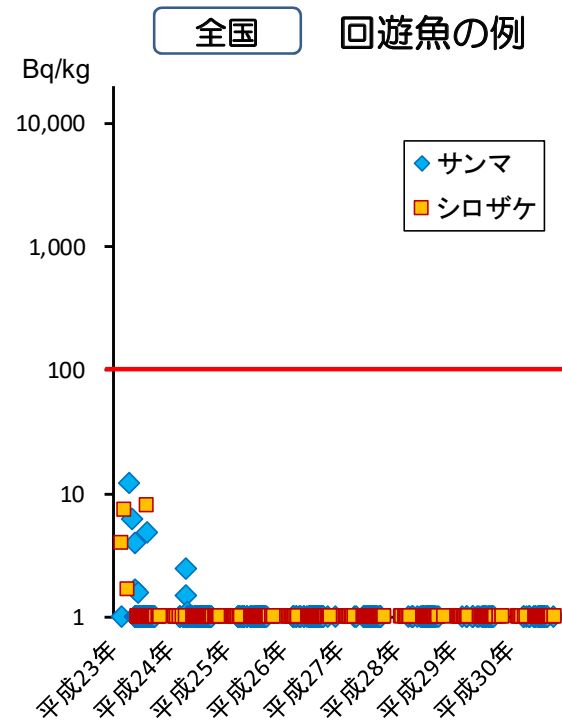
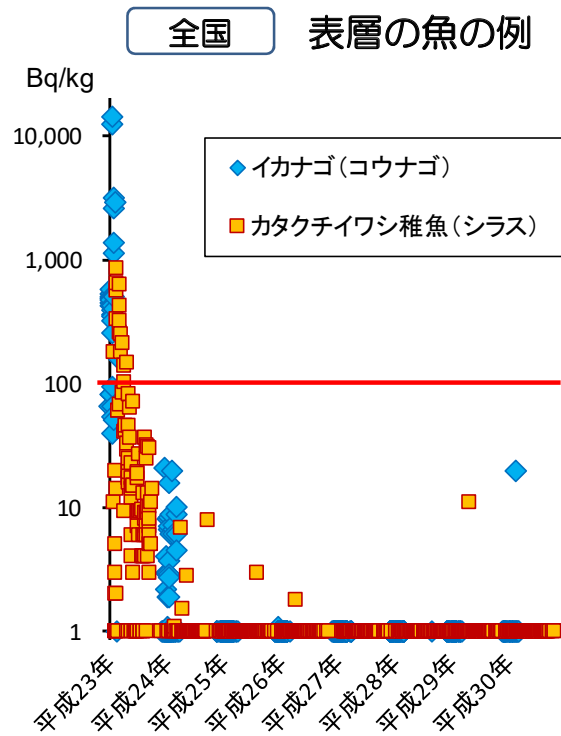


平成23年3月24日から平成31年1月31日までの調査結果を水産庁にて集計。

農林水産省

魚種別の放射性セシウム濃度の傾向 (1/2)

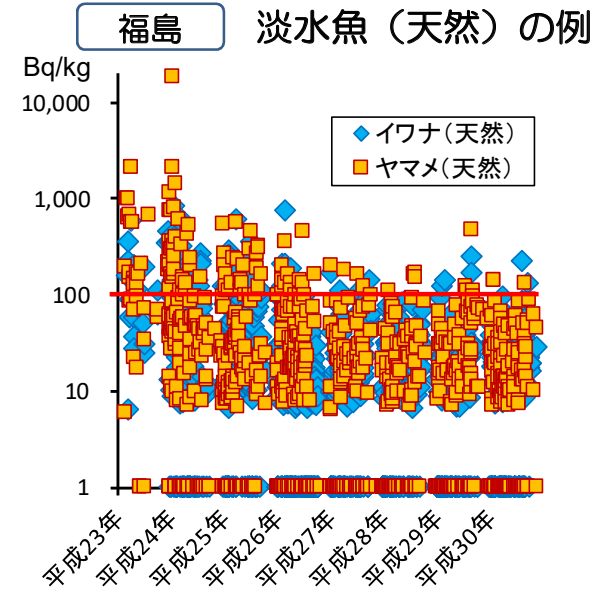
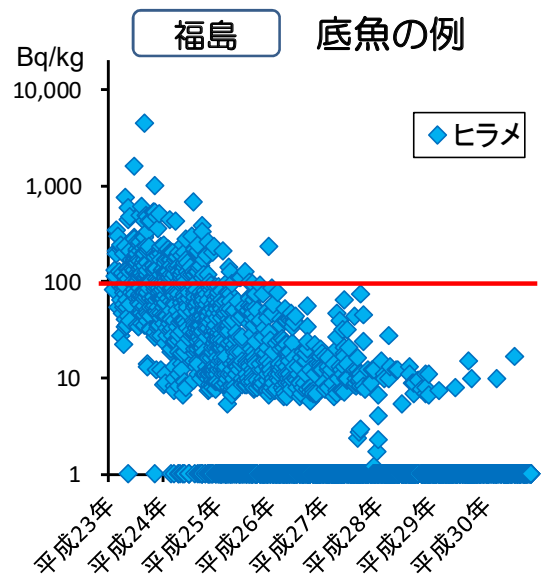
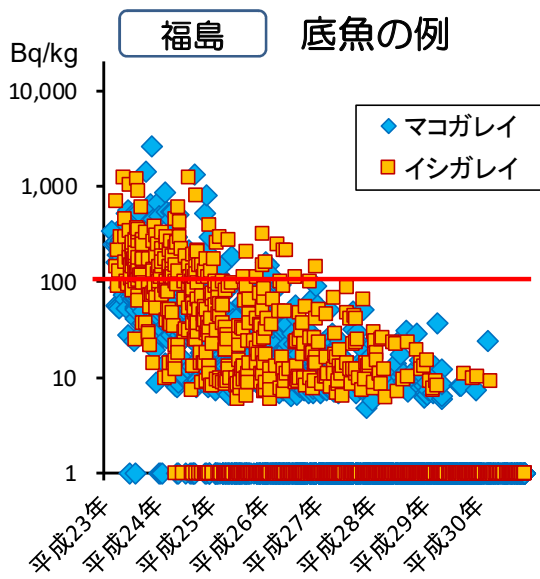
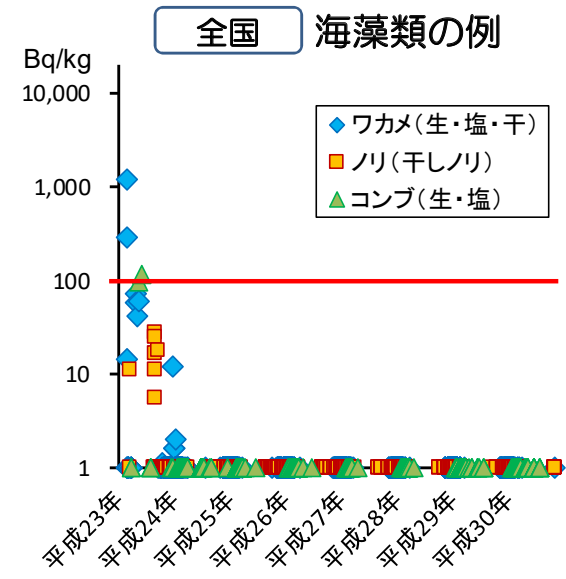
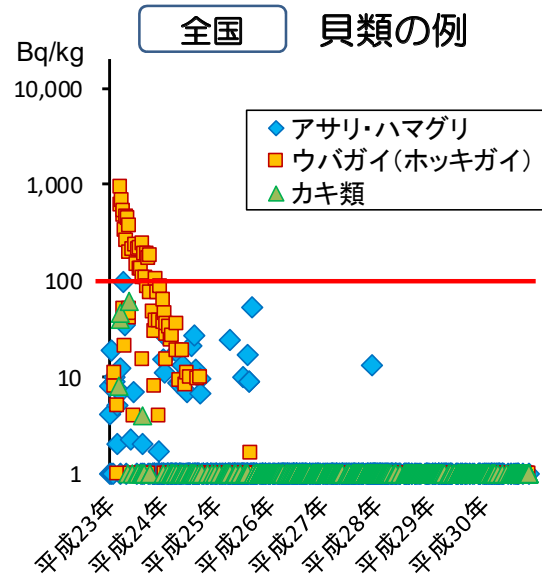
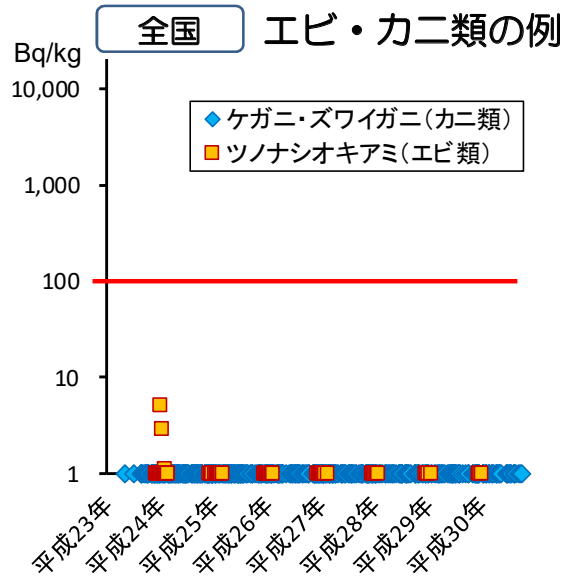
- 現在では、シラスやコウナゴ等の表層の魚、カツオ・マグロ類、シロザケ、サンマといった回遊魚、カレイ・ヒラメ類やマダラ等の底魚、イカ・タコ類、エビ・カニ類、貝類や海藻類等については、全ての都道府県で基準値以下。
- 生息域の環境や食性等が品目毎の傾向に関係。



平成23年3月24日から平成31年1月31日までの調査結果を水産庁にて集計。

水産物

魚種別の放射性セシウム濃度の傾向 (2/2)



平成23年3月24日から平成31年1月31日までの調査結果を水産庁にて集計。

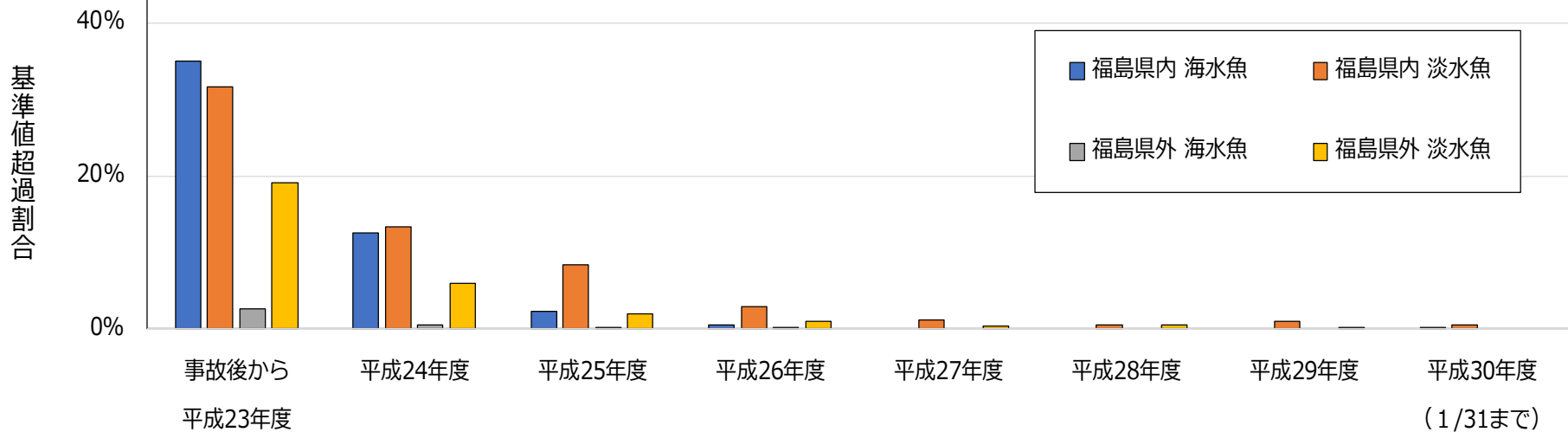
農林水産省

水産物

水産物の検査結果の推移

	検査期間	検査点数	基準値超過点数	超過割合
福島県内 海水魚	事故後から平成23年度	3,074	1,077	35.0%
	平成24年度	6,270	791	12.6%
	平成25年度	7,847	181	2.3%
	平成26年度	8,753	48	0.5%
	平成27年度	8,633	0	0%
	平成28年度	8,842	0	0%
	平成29年度	8,559	0	0%
	平成30年度（1月31日まで）	5,027	1	0.02%
福島県内 淡水魚	事故後から平成23年度	545	173	31.7%
	平成24年度	655	88	13.4%
	平成25年度	683	57	8.3%
	平成26年度	938	27	2.9%
	平成27年度	635	7	1.1%
	平成28年度	701	4	0.6%
	平成29年度	750	8	1.1%
	平成30年度（1月31日まで）	842	5	0.6%

	検査期間	検査点数	基準値超過点数	超過割合
福島県外 海水魚	事故後から平成23年度	4,361	112	2.6%
	平成24年度	9,917	51	0.5%
	平成25年度	9,540	12	0.1%
	平成26年度	8,994	2	0.02%
	平成27年度	7,745	0	0%
	平成28年度	7,086	0	0%
	平成29年度	6,317	0	0%
	平成30年度（1月31日まで）	4,769	0	0%
福島県外 淡水魚	事故後から平成23年度	596	114	19.1%
	平成24年度	2,723	163	6.0%
	平成25年度	2,625	52	2.0%
	平成26年度	2,237	23	1.0%
	平成27年度	1,788	7	0.4%
	平成28年度	1,537	7	0.5%
	平成29年度	1,303	3	0.2%
	平成30年度（1月31日まで）	1,031	0	0%

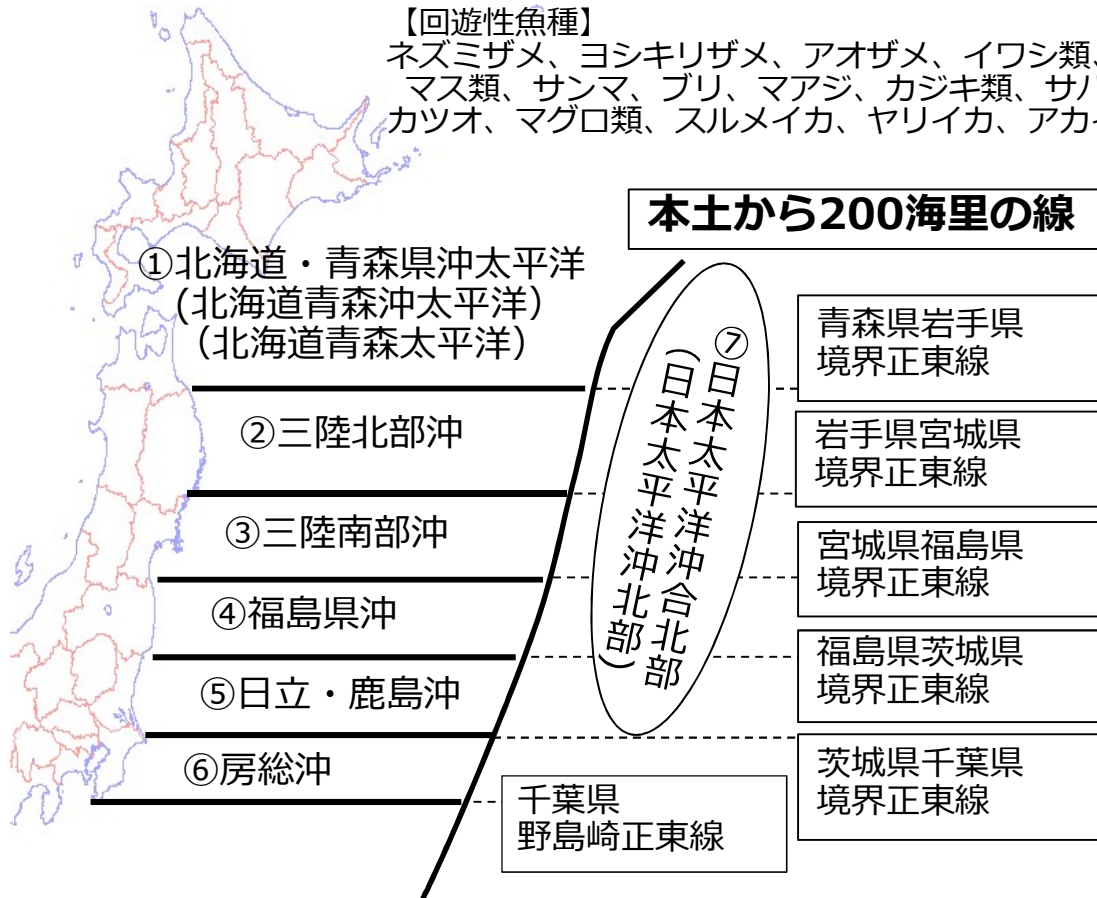


※集計対象：食品中の放射性物質に関する「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」において、検査対象自治体となっている17都県
平成23年3月24日から平成31年1月31日までの調査結果を水産庁にて集計。

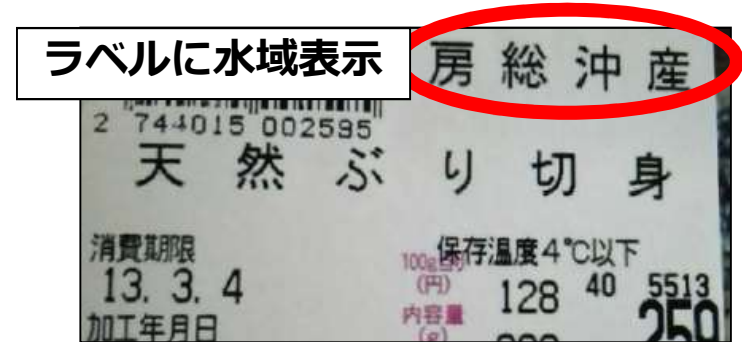
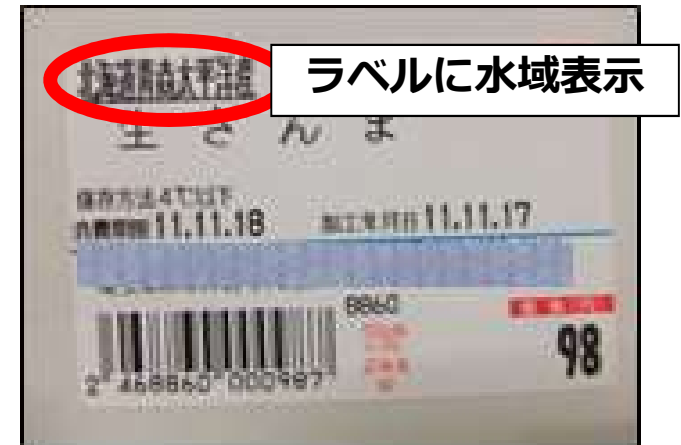
消費者への原産地情報の提供

○平成23年10月から、東日本太平洋側で漁獲された生鮮水産物を中心に、生産水域の区画及び水域名を明確化し、原産地表示を推奨。

回遊性魚種の水域区分図



表示の例



農林水産省「農林水産現場における対応」より作成